

援助や配慮が必要であることを示すマーク（ヘルプマーク）について

障がい福祉課

◇ヘルプマークとは

外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方が、周囲に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう作成されたマーク。

1 ヘルプマークの例

| | |
|---|--|
| <p>【ヘルプマーク】</p>  | <p>(東京都が平成24年制度創設)</p> <p>義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで援助を得やすくなるよう、作成したマークです。</p> |
| <p>【サポートマーク】</p>  | <p>(山口県が平成27年度創設)</p> <p>障害のある方に対するちょっとした手助けや配慮を促進するあいサポート運動の一環として、障がいのある方が身に付けることで、配慮を必要としていることを示すマーク。差し出している手にハートを持たせることで、手助けする人と障がいのある方が、お互い愛情を持って接して欲しい、との思いが込められています。</p> |

2 その他のマークの例

| 名称 | 概要等 |
|---|---|
| <p>【障害者のための国際シンボルマーク】</p>  | <p>(公財) 日本障害者リハビリテーション協会</p> <p>障がい者が利用できる建物、施設であることを明確に表すための世界共通のシンボルマークです。マークの使用については国際リハビリテーション協会の「使用指針」により定められています。</p> |
| <p>【身体障害者標識】</p>  | <p>警察庁</p> <p>肢体不自由であることを理由に免許に条件を付されている方が運転する車に表示するマーク。</p> |
| <p>【聴覚障害者標識】</p>  | <p>警察庁</p> <p>聴覚障がいであることを理由に免許に条件を付されている方が運転する車に表示するマーク。</p> |
| <p>【盲人のための国際シンボルマーク】</p>  | <p>(福) 日本盲人福祉委員会</p> <p>視覚障がい者の安全やバリアフリーに考慮された建物、設備、機器などに付けられています。</p> |
| <p>【耳マーク】</p>  | <p>(一社) 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会</p> <p>聞こえが不自由なことを表す、国内で使用されているマークです。</p> |

| 名称 | 概要等 |
|---|--|
| 【ほじょ犬 マーク】  | 厚生労働省 身体障害者補助犬同伴の啓発のためのマークです。 |
| 【オストメイ トマーク】  | (公財) 交通エコロジー・モビリティ財団 人工肛門・人工膀胱を造設している人(オストメイト)のための設備があることを表しています。 |
| 【ハート・プラ ス マーク】  | (特非) ハート・プラスの会 「身体内部(心臓、呼吸機能、じん臓、膀胱・直腸、小腸、肝臓、免疫機能)に障がいがある人」を表しています。 |

(参考)「援助・配慮を実践する運動」のマークの例

| 名称 | 概要等 |
|---|--|
| 【あいサポ ート運動】  | (鳥取県が平成21年制度創設) 多様な障がいの特性や困っていることなどを理解し、障がいのある方に対して手助けや配慮を実践することにより、障がいのある方が暮らしやすい地域社会を作っていく運動。 |
| 【みんなの 声かけ運 動】  | (兵庫県が平成15年制度創設) 障がい者、高齢者、妊婦、小さな子ども連れの方など、だれもがまちなかで困っているときに、声をかけて助け合う県民運動。 |
| 【「白杖SO Sシグナル」 普及啓発】  | (岐阜市が平成26年度制定) 白杖を頭上50cm程度に掲げてSOSのシグナルを示している視覚に障がいのある人を見かけたら、進んで声をかけて支援しようという「白杖SOSシグナル」運動。 |